

令和6年度

環境科学セミナー

無料

第一部 基調講演

「がん治療の選択肢

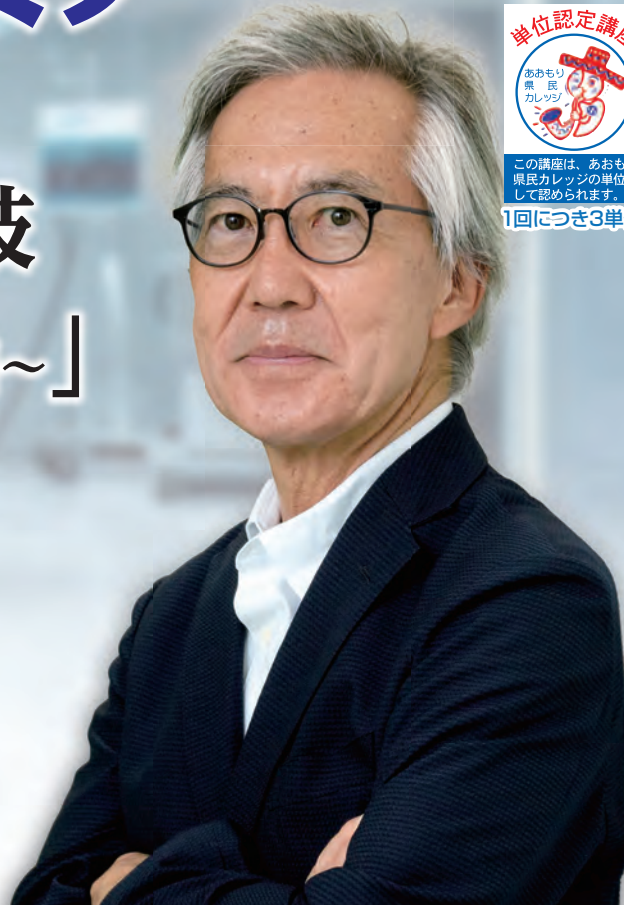
～放射線治療の効用～

東京大学医学部附属病院放射線科
総合放射線腫瘍学講座 特任教授

中川 恵一 氏

Keiichi Nakagawa

1960年東京都生まれ。東京大学医学部医学科を卒業後、同学部放射線医学教室入局。スイス Paul Sherrer Institute へ客員研究員として留学後、東京大学医学部放射線医学教室助手、専任講師、准教授・放射線治療部門長を歴任。2021年度より、現職。新聞各紙連載のほか、「がんのひみつ」、「最強最高のがん知識」、「放射線医が語る一福島で起こっている本当のこと」など、著作多数。



第二部 成果報告

●「親が放射線にあたった後に生まれた子や孫への影響は？」

環境科学技術研究所 生物影響研究部 次長 小村 潤一郎

●「下北東方海域の物質を運ぶ流れ」

日本海洋科学振興財団 むつ海洋研究所 海洋研究部 主任研究員 中山 智治

日時

令和6年

12月12日(木)

13時30分～16時10分 (開場13時)

第1部 基調講演 (13:35～14:35)

第2部 成果報告 (14:45～16:05)

会場

八戸グランドホテル

2階グランドホール

青森県八戸市番町14 ☎ TEL 0178-46-1234

お申し込み方法

参加をご希望の方は、裏面のはがきに住所、氏名等を記入して郵送またはFAXでお申し込みください。電子メール、ホームページからのお申し込みも可能です。

お申し込み・お問い合わせ:公益財団法人 環境科学技術研究所 共創センター

TEL.0175-71-1240 FAX.0175-71-1270

〒039-3212 上北郡六ヶ所村尾駁家ノ前 1-7 [ホームページ](https://www.ies.or.jp/) <https://www.ies.or.jp/> [電子メール](mailto:kanken@ies.or.jp) kanken@ies.or.jp

主催: 青森県 (公財)環境科学技術研究所 (公財)日本海洋科学振興財団

FAX 送信の場合 0175-71-1270 へ

・本はがきで収集した個人情報、本報告会の運営に関する当研究所からのご連絡やご案内にのみ利用いたします。

(キリトリ線)

郵便はがき

0393290

上北郡六ヶ所村
尾駸家ノ前一番七



差出有効期間
令和6年12月11日
(切手不要)

公益財団法人
環境科学技術研究所
共創センター 共創推進課 行

お名前	フリガナ	参加人数	人
住所	〒		
電話番号	() ()		

環境科学セミナー (八戸会場)

放射線に関する事など聞きたいことをお寄せください。



(裏にアタリキ)

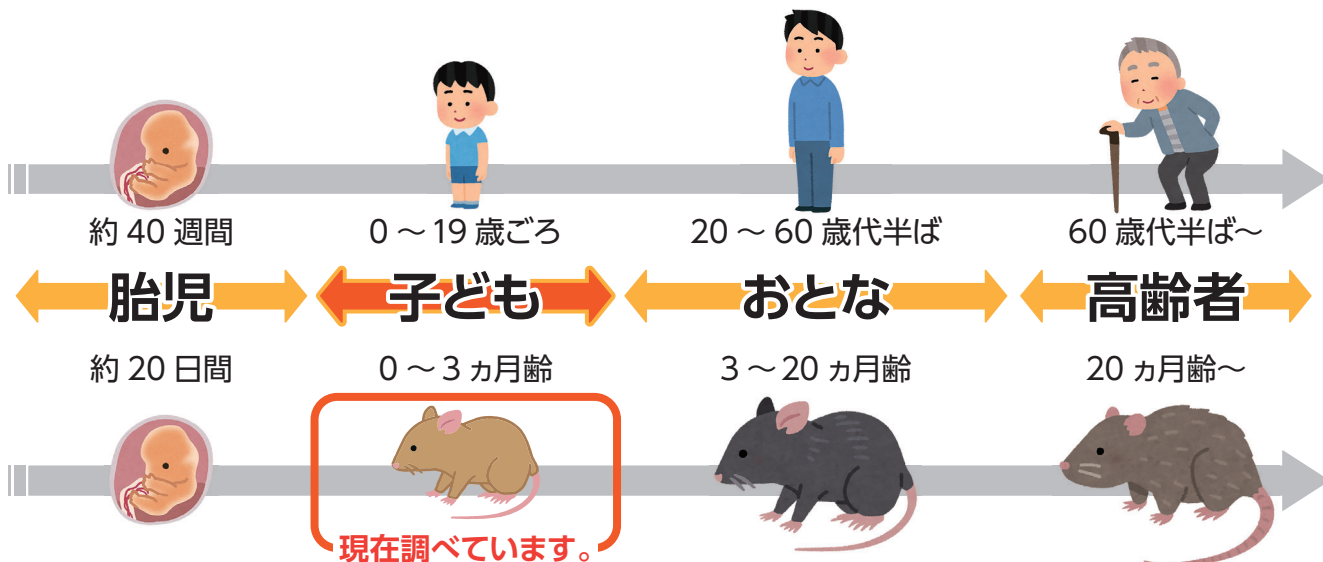
排出放射性物質影響調査 (青森県委託事業) の紹介

弱い放射線を長期間被ばくした場合の影響を調べています。

弱い放射線を長期間にわたり被ばくした場合の影響について、マウス (ハツカネズミ) を使ってデータを集めています。「おとな」のマウスに約400日間にわたり放射線をあて、寿命などを調べた実験では、事故時の避難指示基準や職業人の被ばく限度 (年間20ミリシーベルト) に相当する量の被ばくでは影響は検出されないという結果が得られています。この調査では「おとな」や「胎児」の被ばくの影響に続き、現在「子ども」の被ばくの影響を調べています。



放射線をマウスに照射する実験施設



それぞれの時期でどのような影響がどのくらいあるか調べています。

調査の内容や成果等はホームページ (<https://www.aomori-hb.jp/>) に掲載されています。是非ご覧ください。